

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) ダンハム優仁
所属 (School) 理学系研究科物理専攻
学年 (Grade) D1

留学先 (Name of overseas institution)
University of Texas at Austin
留学期間 (study abroad period)
2017/11/20 - 2018/03/15

記入日 (Date) 2018/04/01

留学レポート Study Abroad Report

私はテキサス大学オースティン校(University of Texas at Austin) の理学系物理学科(College of Natural Science, Department of Physics) に 2017/11/20 から 2018/03/15 の間、留学をしていました。この学科の量子複雑系(Center for complex quantum systems) の研究室に研究留学生(Visiting scholar) として配属されました。そこでトミオ・ペトロスキー先生(Dr. Tomio Petrosky)の指導の下、研究を行いました。

私は博士課程の学生のため、大学では授業などは受けず、基本的に研究のみを行いました。研究室の学生部屋で理論研究を行い、その内容についてペトロスキー先生とディスカッションを行うという大学生活を送っていました。上の写真はその研究室の学生部屋で、同じ研究室のラボメイトと撮ったものです。右が私で、真ん中がマックス(Maxwell Poter)、そして左がコーリー(Cory Ostrove)です。二人とも博士課程の学生です。毎週水曜日にこの2人がいつもお昼ご飯にいろいろなところに連れていってくれました。食べる物は毎回違うもので、グルメスタイルハンバーガーなどのアメリカ料理やテキサスバーベキューなどのテキサス固有のものから、日本ではなかなか食べられない地中海料理など、色々なところに連れて行ってもらいました。大学の近くにはいろいろなレストランがあるので基本的に歩いて行っていました。お昼を食べるために車で少し遠出をしたこともありました。アメリカは車社会と呼ばれるだけあり、多くの学生が自分の車を持っており、車で大学に通う生徒も少なくありません。実際コーリーもそうでした。

テキサス大学オースティン校では短期留学生は学生寮に入ることはできないために、私は近くのアパートを借りてそこから大学まで通っていました。テキサス大学オースティン校は学生証があるとオースティン市内のバスは無料で乗ることができます。そのためバスで通う学生も多いのですが、私は歩ける距離に住んでいたため、歩いて通学をしていました。バスは休日に観光や友達と出かけるために使っていました。しかしバスは大学に向かうものは多いのですが、大学に関係ないところに行くものは目的地まで遠回りをし、本数も少ないために、遊びに行くときは友達の家でみんな一緒に行くことが多かったです。オースティン市は年々人口が増加しており、地価やアパートの家賃は日本と比べて高いです。私が住んでいたアパートの家賃は光熱費を含まずに月\$750 でした。今回の留学では私が自分でインターネットを使いアパートを探したのですが、多くのアパートは家賃が\$1000 を超えていました。そのため、オースティン市では家賃を安くするためにルームシェアをしている学生は多かったです。私はルームシェアをしなかったのですが、これから留学を考えている学資は家賃をおさえるためにも一人暮らしだけでなくルームシェアも考えることおすすめします。

アメリカでの食生活としましては、自炊生活をしていました。自分のアパートから歩いて10分くらいのところにH.E.B.というテキサスにしかないローカル大手スーパーがあり、いつもそこで食料品を買っていました。アメリカのスーパーマーケットは日本のスーパーマーケットと比べてものすごく大きく、種類も豊富です。また農作物や肉はとても安いんです。実際に私が行っていたスーパーマーケットは日本の一般的なスーパーマーケットの4倍ほどの大きさで、チーズだけでも50種類くらいありました。反対に魚の値段は日本と比べて高く、ちょうど日本の牛肉の値段がアメリカの魚の値段、日本の魚の値段がテキサスの牛肉の値段くらいだと思います。肉の種類は豊富なのですが、魚の種類は少なく、また新鮮ではないためにスーパーの魚コーナーはいつも魚臭かったです。ほとんどのスーパーではアジアコーナーがあり、そこでお米や醤油は買えました。またオースティンにはAsahi-yaという日系スーパーがあり、1度ペトロスキー先生に車で連れて行ってもらいました。そこでローカルスーパーでは手に入らない味噌やだしなどの調味料を買いました。自炊をする方は留学先に日系スーパーがあるかどうかを調べることをおすすめします。

アメリカでは多種多様な人種の人があります。外を歩いているだけでも白人だけでなく、黒人やアジア人など様々な人とすれ違います。特にテキサスはメキシコに近いので、メキシコ人はとても多かったです。このため、またオースティンは観光都市ではないためにも、外を歩いているだけでもあなたのことを滅多に外国人とは思わないです。そのために相手は普通の日常会話のスピードで話しかけてきます。あなたのことをアメリカに住んでいるアジア人と思うでしょう。始めは戸惑うかもしれませんが、しばらくすると慣れてくると思います。しかし、そのためにもリスニング能力を上げることはとても重要だと思います。

初めての海外での留学生活は不安もありましたが、ペトロスキー先生や同僚のマックスやコーリー、そしてそこから増えていった友達のおかげでとても充実した4カ月を過ごせました。日本人はシャイな文化の面があるため、なかなか自分から話しかけるのは難しいかもしれません。しかし、アメリカではそれは他人に興味がないという風にみられる可能性があるため、勇気を出して自分の方からいろいろな人に話しかけるべきです。そこから友達の輪が増えていき、英語を使う機会も増え、楽しい、意義のある留学生活を送れると思います。

